

# ADL

第2版

contents

● 序～第2版の発行に寄せて～	柴 喜崇, 下田信明 3
● 本書の使い方	12

## 第1章 ADLとは

<b>① ADLの概念と範囲</b>	下田信明 14
コラム▶ ADL指導とリハ職としてのやりがい	岡本絵里加 16
<b>② 生活機能からみたADLの位置づけ</b>	柴 喜崇
① 國際疾病分類と國際生活機能分類	18
② 「医学モデル」から「社会モデル」への変遷	18
③ 生活機能の「活動と参加」を測定する	20

## 第2章 ADL評価

上出直人

<b>① ADL評価のポイント</b>	
① ADL動作の観察と分析	22
1) 量的評価とは 2) 質的評価とは	
② ADLと環境	24
コラム▶ 非運動性活動熱產生	後藤寛司 25
③ 「できるADL」と「しているADL」	26
1) できるADLとしているADLとは 2) 対象者の要因と環境の要因	
コラム▶ 活動量の測り方	平田恵介 27

## ② ADL評価表

① 評価表を使用する際の注意点	28
② バーセル・インデックス (BI)	29
1) BIとは 2) BIの利点と注意点	
③ 機能的自立度評価表 (FIM)	31
1) FIMとは 2) FIMの利点と注意点	

<b>4 手段的ADL (IADL) の評価</b>	32
1) IADLスケール 2) 老研式活動能力指標	
<b>■ 付録図 姿勢の呼称と姿勢変換図</b>	36

## 第3章 介助方法と練習指導：基本編【片麻痺・四肢麻痺・対麻痺（脳卒中、脊髄損傷）】

### ① 脳卒中片麻痺

<b>1 疾患・機能障害の概要</b>	38
1) 脳卒中とは 2) 脳卒中における身体機能障害とADL制限 3) 脳卒中における高次脳機能障害とADL制限 4) 脳卒中片麻痺のADL・IADL練習の考え方	
<b>2 起居・移乗・移動</b>	41
1) ADLにおける起居・移乗・移動とは 2) 寝返り（背臥位から側臥位）  3) 起き上がり（側臥位から端座位）   4) 移乗（ベッドから車いすへ：ベッド柵のない場合）   5) 移乗（ベッド柵のある場合） 6) 床からの立ち上がりと床への座り込み   7) 車いす移動 8) 歩行	
<b>3 食事</b>	51
1) 食事とは 2) 摂食・嚥下機能 3) 介助方法・練習指導のポイント（福祉用具の活用も含む）	
<b>4 排泄</b>	66
1) 排泄とは 2) 介助方法と指導のポイント 	
<b>5 更衣</b>	69
1) 更衣とは（上衣、下衣、その他） 2) 介助方法・練習指導のポイント   	
<b>6 整容</b>	76
1) 整容とは 2) 身体機能障害、高次脳機能障害と整容 3) 介助方法・練習指導のポイント（福祉用具の活用も含む）	
<b>7 入浴</b>	79
1) 入浴とは 2) 身体機能障害、高次脳機能障害と入浴 3) 介助方法・練習指導のポイント（福祉用具の活用も含む）	
<b>8 コミュニケーション</b>	83
1) コミュニケーションとは 2) 動作に必要な機能 3) 介助方法・練習指導のポイント（福祉用具の活用も含む）	
<b>9 料理</b>	85
1) 料理とは 2) 介助方法・練習指導のポイント	
<b>10 洗濯</b>	89
1) 洗濯とは 2) 介助方法・練習指導のポイント	
<b>11 バス・電車・自動車・エスカレーターの乗降</b>	92
1) バス・電車の乗降 2) 自動車の乗降 3) エスカレーターの乗降	

### ② 脊髄損傷 四肢麻痺

<b>1 疾患・機能障害の概要</b>	96
---------------------	----

1) 脊髄損傷とは 2) 脊髄損傷に特異的な評価法 3) 残存レベルと最終獲得機能 4) 完全SCI者の身体運動機能障害の臨床的特徴と介入	
<b>2 起居・移動・移乗</b>	104
1) 寝返り(動画) 2) 起き上がり(動画) (動画) (動画) (動画) 3) 床上移動(動画) (動画)	
4) 移乗(動画) (動画) 5) 車いす移動 (坂道・段差・階段の介助法, 平地駆動法)(動画) (動画)	
6) 車いす上の姿勢調整	
<b>3 食事</b>	135 出口弦舞
1) 摂食 2) 飲水	
<b>4 排泄</b>	139
1) 排尿 2) 排便	
<b>5 更衣</b>	143
1) 上衣 2) 下衣 3) 靴下 4) 靴 5) 車いす駆動用グローブ	
<b>6 整容</b>	147
1) 歯磨き 2) 爪切り 3) 髭剃り	
<b>7 入浴</b>	149
1) シャワー浴 2) 浴槽の出入り	
<b>8 スイッチ操作, リモコン操作, スマートフォン・パソコン操作, 書字</b>	151
1) スイッチ操作 (ナースコール用, ECS用) 2) テレビやベッドなどのリモコン操作 3) スマートフォン・タブレットPC・パソコン操作 4) 書字	
<b>9 住宅改修</b>	155
1) 屋内外の出入り 2) エアコン	
<b>10 自動車</b>	156
1) 運転 2) 移乗 3) 車いすの積み込み	
<b>③ 脊髄損傷 対麻痺</b>	
<b>1 疾患・機能障害の概要</b>	160 藤繩光留
<b>2 起居・移動・移乗</b>	160
1) 寝返り 2) 起き上がり 3) 移乗 (ベッドへの側方移乗, 床からの移乗) 4) 車いす移動 (自立例: ウイリー, 坂道昇降, 段差昇降) 5) 立位, 歩行	
<b>3 排泄</b>	172 出口弦舞
1) 排尿 2) 排便	
<b>4 更衣</b>	172
<b>5 入浴</b>	172
<b>6 住宅改修</b>	173
<b>7 自動車</b>	173

## 第4章 介助方法と練習指導：応用編（脳卒中, 脊髄損傷以外の疾患）

### ① パーキンソン病

<b>1</b>	<b>疾患・機能障害の概要</b>	柴 喜崇	174		
1)	パーキンソン病とは	2) パーキンソン病に罹患した人々のADL障害の評価			
<b>2</b>	<b>起居・移動・移乗</b>	水野公輔	178		
1)	寝返り	2) 起き上がり	3) 座位・立位	4) 起立動作（立ち上がり・着座）	5) 歩行
<b>3</b>	<b>食事</b>	大寺亜由美	185		
1)	姿勢指導	2) 摂食動作指導	3) 服薬管理指導	4) 嘔下指導・体操	
<b>4</b>	<b>更衣</b>		186		
1)	衣服の種類の変更	2) 環境調整			
<b>5</b>	<b>整容</b>		186		
<b>6</b>	<b>コミュニケーション</b>		186		
<b>7</b>	<b>料理</b>		187		
<b>8</b>	<b>住宅改修</b>		188		

## ② 神経筋疾患

---

<b>1</b>	<b>疾患・機能障害の概要</b>	水野公輔	191
1)	神経筋疾患とは	2) 代表的な神経筋疾患	3) 神経筋疾患のADL
<b>2</b>	<b>起居・移動・移乗</b>		197
1)	起居動作（寝返り・起き上がり）	2) 起立動作（立ち上がり・着座）	3) 立位・歩行
4)	車いす		
<b>3</b>	<b>食事</b>	大寺亜由美	201
<b>4</b>	<b>排泄</b>		201
<b>5</b>	<b>更衣</b>		202
<b>6</b>	<b>整容</b>		202
<b>7</b>	<b>入浴</b>		202
<b>8</b>	<b>コミュニケーション</b>		203
<b>9</b>	<b>料理</b>		203
<b>10</b>	<b>洗濯</b>		206
<b>11</b>	<b>住宅改修</b>		206

## ③ 認知症

---

石井利幸

<b>1</b>	<b>疾患・機能障害の概要</b>		207
1)	認知症とは	2) 代表的な認知症疾患	3) 認知症者の主観的世界
<b>2</b>	<b>認知症におけるADLの制限</b>		209
1)	認知症者の活動障害	2) ADL練習の考え方	
<b>3</b>	<b>食事</b>		211
<b>4</b>	<b>排泄</b>		211
<b>5</b>	<b>入浴</b>		212
<b>6</b>	<b>コミュニケーション</b>		212

**4 統合失調症** 河野 真

<b>1 疾患・機能障害の概要</b>	214
1) 統合失調症とは 2) 統合失調症の機能特性 3) 統合失調症の行動特性 4) 統合失調症におけるADLの制限 5) ADL・IADL練習の考え方	
<b>2 コミュニケーション</b>	219
1) 状況判断や問題解決のまづさの具体例 2) 分析 3) 具体的なIVAST	
<b>3 その他の介入のポイント</b>	219
<b>コラム</b> 精神障害の生活機能障害に対する客観的評価と主観的評価	趙 吉春 220

**5 脳性麻痺** 桑原知佳

<b>1 疾患・機能障害の概要</b>	221
1) 脳性麻痺とは 2) 脳性麻痺の重症度の程度の把握 3) 脳性麻痺によるADLの制限 4) 子どものADL評価法 5) 脳性麻痺児のADL練習の考え方	
<b>2 脳性麻痺児の介助方法と練習指導の実際（レベル別）</b>	225
1) GMFCS-E & R レベルⅠ・Ⅱ 2) GMFCS-E & R レベルⅢ 3) GMFCS-E & R レベルⅣ 4) GMFCS-E & R レベルⅤ	
<b>3 脳性麻痺児の加齢に伴う二次障害の発生とADLの変化</b>	232

**6 脊椎疾患** 芦原光明

<b>1 疾患・機能障害の概要</b>	234
1) 過伸展に注意する疾患：腰部脊柱管狭窄症 2) 過屈曲に注意する疾患1：腰椎椎間板ヘルニア 3) 過屈曲に注意する疾患2：脊椎圧迫骨折 4) 過伸展・過屈曲両方に注意する疾患：脊椎固定術後	
<b>2 起居・移乗・移動</b>	238
1) 起き上がり 2) 座位 3) 立位 4) 立ち上がり 5) 歩行	
<b>3 更衣</b>	241
<b>4 入浴</b>	242
<b>5 持ち上げ動作</b>	243

**7 呼吸器疾患**

<b>1 疾患・機能障害の概要</b>	遠原真一, 高島千敬 244
1) 慢性閉塞性肺疾患（COPD）、間質性肺炎とは 2) COPDにおけるADLの制限 3) 呼吸困難感の程度の把握 4) COPDのADL評価 5) 呼吸器疾患におけるADL・IADL練習の考え方	
<b>2 移動</b>	遠原真一 253
1) 移動 2) 階段の昇降	
<b>3 排泄</b>	高島千敬 255
<b>4 更衣</b>	255
<b>5 整容</b>	257
<b>6 入浴</b>	257
1) 洗髪動作 2) 洗体動作	

<b>7</b>	料理	259
<b>8</b>	掃除	260
<b>9</b>	パニックコントロール	261

## ⑧ 心疾患

<b>1</b>	疾患・機能障害の概要	遠原真一, 高島千敬 262
1)	虚血性心疾患・心不全とは	2) 心疾患によるADLの制限 3) 心疾患の程度の把握 4) 心疾患におけるADL・IADL練習の考え方
<b>2</b>	移動	遠原真一 267
1)	移動	2) 階段の昇降
<b>3</b>	比較的軽負荷の活動（食事・更衣・整容・料理）	高島千敬 268
<b>4</b>	排泄	269
<b>5</b>	入浴	269
<b>6</b>	掃除・洗濯	269
<b>7</b>	術後練習の注意点	270
1)	胸骨正中切開後の注意	2) CRT-D植え込み術後の注意

## ⑨ 関節リウマチ

林 正春

<b>1</b>	疾患・機能障害の概要	272
1)	関節リウマチとは	2) 病期別機能障害 3) 障害評価 4) リハビリテーションの種類とRAでの考え方 5) 関節リウマチのADL・IADL練習の考え方
<b>2</b>	起居・移乗・移動	277
1)	起居	2) 立ち上がり 3) 歩行 4) 車いす・電動車いす移動
<b>3</b>	食事	279
<b>4</b>	排泄	280
<b>5</b>	更衣	281
<b>6</b>	整容	282
<b>7</b>	入浴	282
<b>8</b>	事例紹介	283
<b>9</b>	総括	285

## ⑩ 人工関節全置換術

河端将司

<b>1</b>	人工股関節全置換術（THA）の概要	286
1)	適応	2) 手術侵入方法 3) 効果と欠点 4) 耐久性 5) 合併症 6) 脱臼
<b>2</b>	人工膝関節全置換術（TKA）の概要	288
1)	適応	2) 種類 3) 効果と欠点 4) 合併症 5) 脱臼
<b>3</b>	起居・移動	289
1)	寝返り	2) 起き上がり 3) 床からの立ち上がりと床への座り込み 4) 歩行 5) 階段の昇降

<b>4</b>	入浴	293			
<b>5</b>	更衣	294			
<b>6</b>	整容	294			
<b>11</b>	<b>下肢骨折</b>	河端将司			
<b>1</b>	疾患・機能障害の概要	295			
1)	大腿骨近位部骨折とは	2) 大腿骨・下腿骨骨折、足関節の骨折とは			
<b>2</b>	起居・移乗・移動	297			
1)	免荷歩行における荷重量と使用する杖	2) 松葉杖の使用法	3) 部分荷重の歩行	4) 完全免荷の歩行	5) 階段昇降

## 第5章 症例提示

<b>1</b>	<b>病院（回復期）におけるADL指導</b>	梅木千鶴子、斎藤和夫 302	
<b>1</b>	評価と課題、目標	304	
1)	PT・OT初期評価	2) PT・OT中間評価	
<b>2</b>	ADLプログラムの概要	308	
1)	ADLプログラムの流れ	2) 高次脳機能障害のある場合のポイント	3) カンファレンスの活用
<b>3</b>	ADLプログラムの詳細	310	
1)	初期のADL練習	2) 中期のADL練習	3) 終盤のADL練習
<b>4</b>	ADLの経過と帰結	314	
1)	ADL経過	2) ADL帰結	
<b>5</b>	経時的变化	317	
<b>2</b>	<b>在宅におけるADL指導</b>	原田祐輔 322	
<b>1</b>	評価と課題、目標	323	
1)	ADL評価結果	2) 評価結果からの対応課題（問題点）	3) 訪問リハビリテーション目標
4)	OTプログラム		
<b>2</b>	ADL・IADLプログラムの詳細	325	
1)	入浴	2) 料理	
<b>3</b>	ADL・IADLの経過と帰結	329	
1)	ADL経過	2) ADL帰結	
<b>●</b>	<b>索引</b>	330	

### ■正誤表・更新情報

<https://www.yodosha.co.jp/textbook/book/6865/index.html>



### ■お問い合わせ

<https://www.yodosha.co.jp/textbook/inquiry/index.html>



本書発行後に変更、更新、追加された情報や、訂正箇所のある場合は、上記のページ中ほどの「正誤表・更新情報」を隨時更新しお知らせします。

本書に関するご意見・ご感想や、弊社の教科書に関するお問い合わせは上記のリンク先からお願いします。